

葱花 代三百文 金薄以漆置之

雨皮 代三貫文 生平絹兩面水色長八尺弘六幅

縹網疊 代八百文 錦四方二重縁

東京錦御茵 代三貫五百文

加良美緋組 代一貫文

油單並張筵 代八百文

木丸總藥四方アリ 代八百文

金物所々 代三貫文 檻并地盤折金物等

柱四本 代五貫文 木口金物アリ失ハズ黒漆雨儀ニ被用之

吳床 代一貫文 檻木柱八本鐵折金物アリ差網等

物塗 代三貫八百文 折中分

表裏筵 代三百文

已上十八貫八百文

覆張可被用古物之間不注申

右爲折中注進如件

永正十二年六月 日

〔娶入記〕一御こしのかなもの、まだい

十二所 九所 七所 五所なり

まげがなものは、十二所のかな物のあひだへ、いろく

たの人は、まむまやくあるべし、

行 事 官 左 史 生 宗 岡 行 賢 上